



ei



kikuchi



aso



2020

1.28 Tue.

入場無料

申込み不要

令和元年度 熊本創生推進機構 地域づくり交流会

その地でしか体験できない自然や歴史・文化など、ふるさとに生きる人々の暮らしそのもの、「ライフスタイル」を発信するツーリズムの可能性について広く議論します。鹿児島県の^{えい}顛娃にて、地域おこしからツーリズム、DIYリノベーションまで幅広く手掛けられてきた加藤潤さんをお招きして基調講演をして頂き、熊本県内でもご活躍のお二人を交えてパネルディスカッションを行います。

ツーリズムの可能性 多様な人々のライフスタイルを考える

日時 令和2年1月28日(火) 14:00~16:30 (13:30~受付)

場所 熊本大学工学部百周年記念館

14:00 開会

14:10 基調講演 「DIYマインドで取り組むツーリズムが生み出したもの
~観光客素通りのまに空き家再生の宿をつくる~」

加藤 潤 氏

NPO法人顛娃おこそ会 副理事長/シーホースウェイズ(株) 専務取締役

15:10 パネルディスカッション

テーマ 「ライフスタイルからツーリズムを考えてみる」

パネリスト 加藤 潤 氏

高木恵美 氏 菊池市「つばき庵」オーナー

久保亮之 氏 一般社団法人みなみあそ観光局 戦略統括マネージャー



加藤 潤(かとう じゅん)

埼玉県出身。青山学院大学経営学部卒業後、モービル石油(株)、住友林業(株)などに勤務し、多くの海外出張も経験。その後鹿児島県南九州市顛娃町へ1ターンス移住し、実弟とともに観光養殖場「タツノオトシゴハウス」を立ち上げた。観光地ではなかった顛娃において、農家や商店主など観光業者でない地域メンバーを巻き込んだ地域活動を展開。これまで町外来訪者がまばらだった顛娃町が年間15万人の来訪者を迎えるまでに育つなど、観光を活かした地域づくりに貢献している。また町内の石垣商店街を中心に、NPOを通じて9軒の空き家を再生し、移住者とともに交流拠点や宿を運営するなど、まちづくり分野での活動にも力を入れている。